

ひばりの通信

第56号

令和4年10月31日発行

宮城県石巻港湾事務所

はじめに

ひばりの通信は、仙台塩釜港石巻港区等の施設の整備状況や、港に関連するイベントなどについて情報発信をしています。

今回は、最近のトピックスや、令和3年・4年に続けて発生した福島県沖地震による港湾施設や海岸保全施設の復旧状況などについてお知らせします。

バイオマス発電所荷役船が初寄港しました

令和4年9月26日（月）、石巻ひばり野バイオマス発電所（合同会社石巻ひばり野バイオマスエナジー）への燃料荷役船が初寄港しました。

荷役船は雲雀野北ふ頭岸壁及び雲雀野中央1号岸壁へ接岸し、計11日間にわたり燃料（木質ペレット）の荷揚げを行いました。同発電所は来春の本稼働を計画しており、来年1月からバイオマスの燃焼試験を開始する予定です。



荷役の様子①



荷役の様子②

3年振りにクルーズ船が寄港予定

令和4年11月3日（木・祝日）に内航クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が寄港予定です。石巻港へのクルーズ船寄港は平成31年を最後に3年振りになります。



平成31年の様子①



平成31年の様子②

石巻港について出前講座を実施

令和4年7月11日（月），石巻市立大街道小学校の3年生児童39名を対象に，石巻市河川港湾高規格道路整備推進課と当所が連携して出前講座を行いました。

「石巻港の役割」をテーマに，港の役割，港での仕事，運ばれてくる貨物，石巻港に寄港するクルーズ船等について説明をし，講座の最後に「石巻港クイズ」を行いました。

講座中，児童の皆さんはとても熱心にメモを取り，貨物の量や船の大きさなどを聞いて大変驚いた様子でした。クイズにも真剣に取り組み，今回の講座を通して港というものを身近に感じていただけたようです。



「石巻港探検ツアー」を開催

令和4年8月9日（火），工業港として発展してきた石巻港の役割を学ぶ「石巻港探検ツアー」（主催：石巻市教育委員会生涯学習課）が小学5・6年生を対象に開催されました。

児童はバスで陸上から港内を見学するグループと，国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し海上から港内見学をするグループに分かれて見学しました。当所は陸上・海上それぞれで石巻港の概要説明を担当しました。

児童の皆さんは，大変興味深く説明を聞いていました。



令和4年災(3月16日発生地震)の災害査定(1次・2次)が完了しました

■ 令和4年災の災害査定が実施されました

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した事務所管内施設について、令和4年5月24日から5月27日にかけて1次査定、令和4年8月8日から8月10日にかけて2次査定を受検しました。

早期復旧に向けて、引き続き対応してまいります。

令和4年度港湾関係公共土木施設災害復旧事業 (令和4年3月16日福島県沖を震源とする地震による災害)

【1次査定】

査定区分	査定申請		査定決定		査定率
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
港湾施設	14	485,536	14	472,636	97.3%
海岸施設	6	156,604	6	132,295	84.5%
合計	20	642,140	20	604,931	94.2%

【2次査定】

査定区分	査定申請		査定決定		査定率
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
港湾施設	4	465,432	4	457,939	98.4%
海岸施設	1	31,634	1	29,723	94.0%
合計	5	497,066	5	487,662	98.1%

■ 災害査定申請箇所

【1次査定】

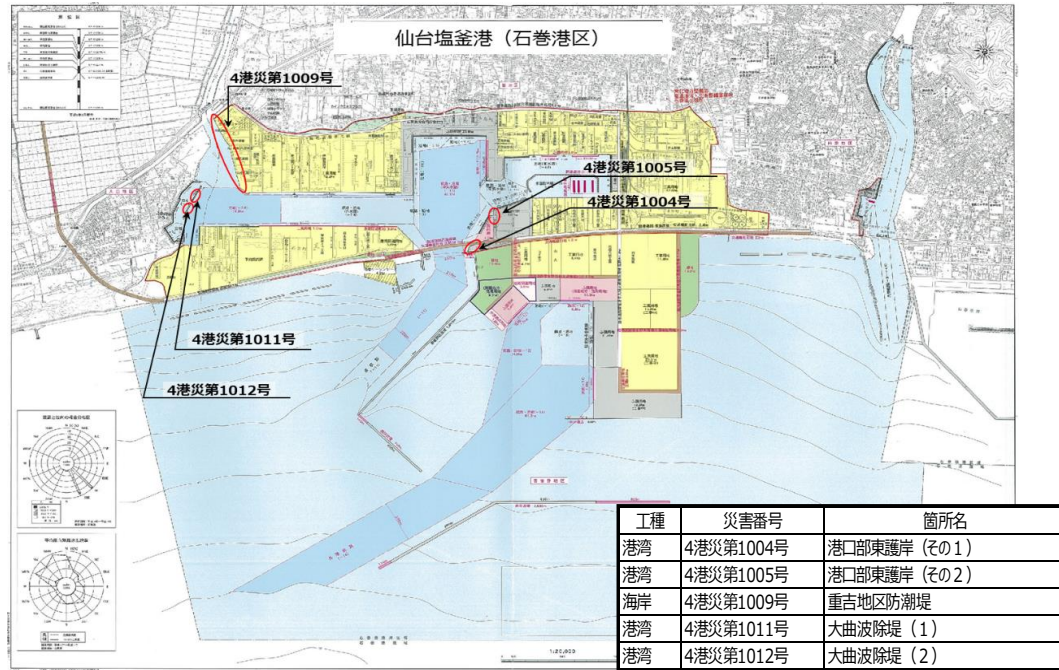
仙台塩釜港(石巻港区)

工種	災害番号	箇所名
① 港湾	4港災第1001号	雲雀野中央1号ふ頭岸壁
① 港湾	4港災第1002号	雲雀野中央2号ふ頭岸壁
① 港湾	4港災第1003号	雲雀野北埠頭岸壁
① 海岸	4港災第1006号	西水路北地区防潮堤
① 海岸	4港災第1007号	西水路南地区防潮堤(その1)
② 海岸	4港災第1008号	西水路南地区防潮堤(その2)
② 港湾	4港災第1013号	大曲船溜波除堤
② 港湾	4港災第1014号	臨港道路西海岸線

地方港

工種	災害番号	箇所名
⑤ 港湾	4港災第1015号	石浜(-7.5m)岸壁
⑤ 港湾	4港災第1016号	立浜(-2.0m)物揚場
⑤ 港湾	4港災第1017号	大浜(-2.0m)物揚場
⑤ 海岸	4港災第1018号	伊勢畑防潮堤(その1)
⑤ 海岸	4港災第1019号	伊勢畑防潮堤(その2)
⑤ 海岸	4港災第1020号	伊勢畑防潮堤(その3)
⑤ 港湾	4港災第1021号	唐桑-2.5m物揚場
⑤ 港湾	4港災第1022号	唐桑-2.0m物揚場
⑤ 港湾	4港災第1023号	茨浜取付護岸
⑤ 港湾	4港災第1024号	小積物揚場
③ 港湾	4港災第1025号	表浜(-4.0m)物揚場B
④ 港湾	4港災第1026号	表浜(-3.0m)物揚場

【2次査定】



■ 査定状況写真

【1次査定】



1001号 雲雀野中央1号ふ頭岸壁



1015号 石浜(-7.5m)岸壁

【2次査定】



1011号 大曲波除堤(その1)



1005号 港口部東護岸(その2)

石巻港 令和3年災・4年災被災復旧状況

令和3年2月及び令和4年3月に発生した福島県沖地震により、多くの施設が被災しました。現在、早期復旧に向けて工事を進めています。

① 施工箇所：雲雀野中央心頭

応急本工事完成



エプロン部の沈下・クラック



段差：26cm

② 施工箇所：西水路南地区防潮堤

被災状況



側溝、集水樹・崩壊



施工中



段差：39cm

地方港（表浜港）令和3年災・4年災被災復旧状況

③施工箇所：表浜（-4.0m）物揚場B



エプロン部の沈下

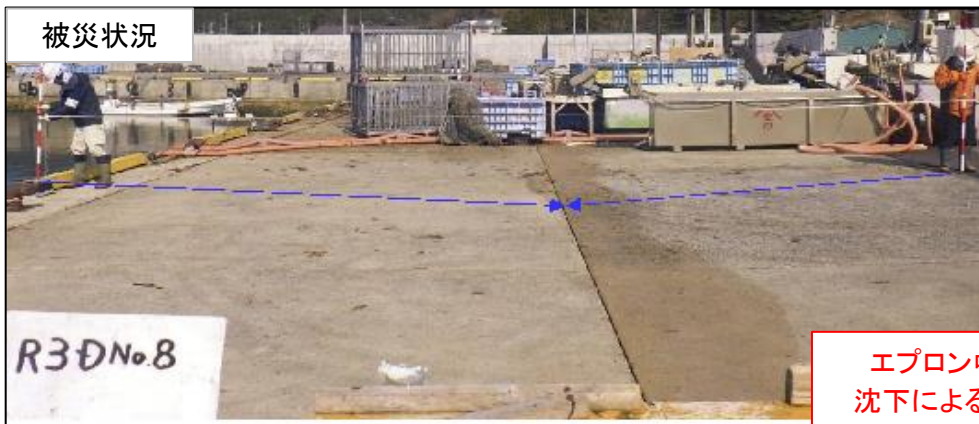


護岸のズレ



幅：10cm

④施工箇所：表浜（-3.0m）物揚場



エプロン中央部の沈下による排水不良



開き：8cm

地方港（女川港）令和3年災・4年災被災復旧状況

施工状況【石浜（-4.0m）,（-4.5m）物揚場】



⑤施工箇所：石浜（-7.5m）岸壁



出島架橋工事の資材搬入岸壁として利用するため、
年内に全延長(L=156m)供用開始予定。
(10月24日にL=70mの供用開始)



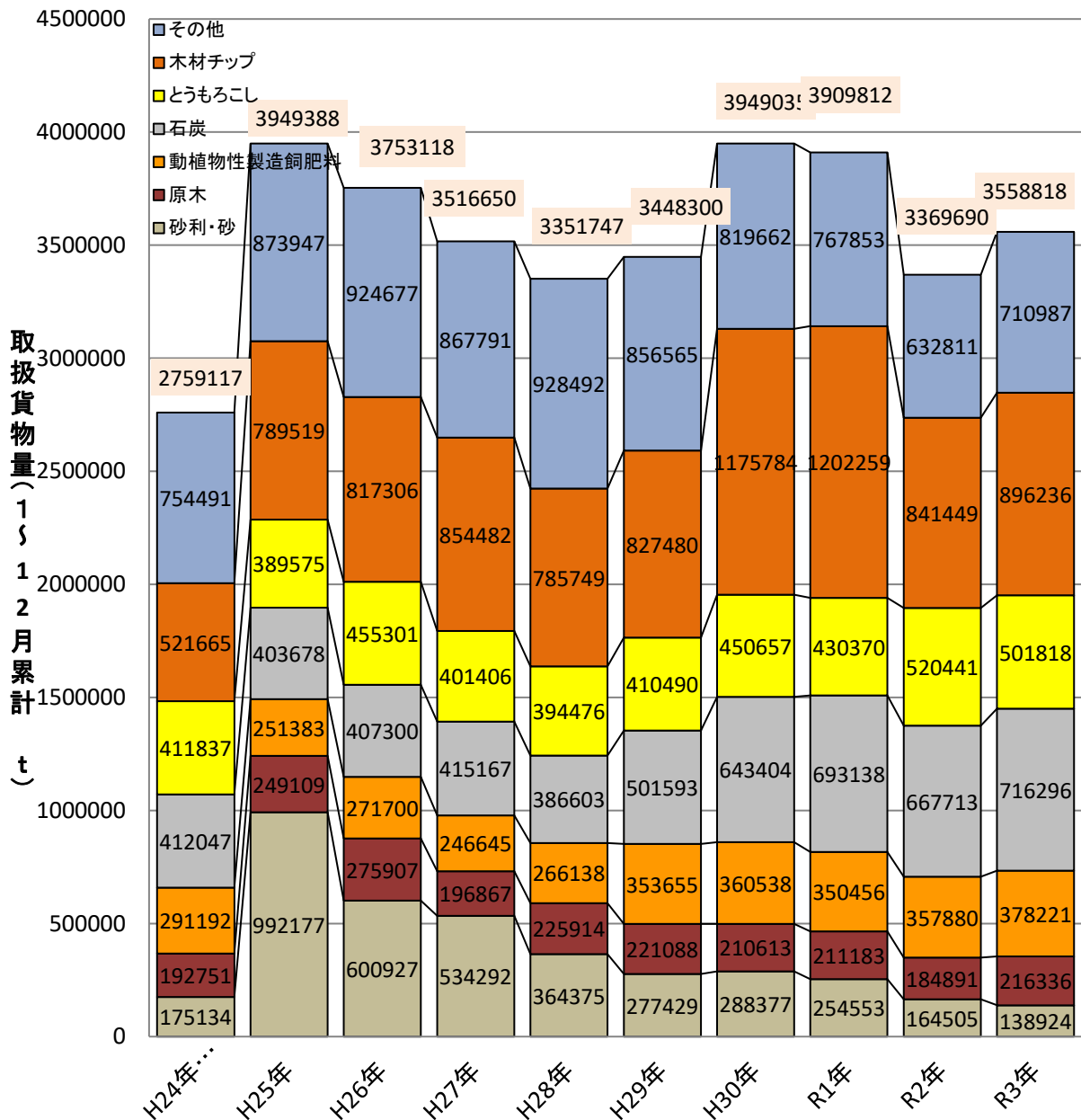
港湾取扱貨物量の推移

■令和3年（1～12月）累計貨物量は約356万トンの実績

令和3年1月から令和3年12月までの石巻港区の取扱貨物量は約356万トンで、前年と比べ約5.6パーセント増加しております。

取扱の多い上位3品目は木材チップ、石炭、とうもろこしとなっており、前年と比較すると「木材チップ（木質ペレット）」+6.5パーセント、「石炭」+7.3パーセント、「とうもろこし」-3.6パーセントとなっております。コロナ禍以前には及ばないものの、前年と比べ、徐々に貨物量が増加している傾向にあります。

1月～12月取扱貨物量累計年比較(内港含む ただしフェリー貨物分は除く)



「油流出事故対応訓練」を実施

令和4年4月27日（水）、石巻港区内で油流出事故が発生した場合を想定した油流出事故対応訓練を、委託業者と合同で石巻港区日和8号岸壁にて実施しました。今回の訓練では、オイルフェンスの展張及び流出油の回収作業の確認を行いました。

訓練を実施したことにより、オイルフェンスの展張にあたっての課題を再確認することができました。今後も訓練を行い、事故発生時に迅速かつ円滑な対応ができるよう準備してまいります。



編集後記

令和3年度をもちまして管内の東日本大震災にかかるすべての復旧・復興事業が完了の運びとなりました。

今年度は、福島県沖地震関連の事業の完遂に全力で取り組むとともに、管内での取り組みやイベント情報を積極的に情報発信してまいります。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

住所：〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話：0225-95-6271

FAX：0225-95-6273

E-MAIL: iskown@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>